

TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



トヨタは、気候変動、水不足、資源枯渇、生物多様性の損失など、地球環境の問題に対し、これまでも広く取り組んできました。今後も環境への取り組みを通じて、SDGsの実現に貢献します。

<https://global.toyota/jp/sustainability/esg/environmental-policy/>



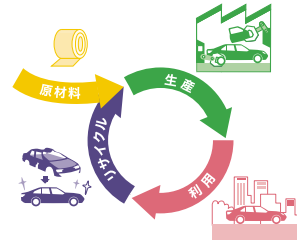
■ カーボンニュートラルの実現

トヨタは、「カーボンニュートラル」の実現のために、「つくる」「はこぶ」「つかう」「廃棄・リサイクル」など、クルマの一生を通して、CO₂排出量を削減する取り組みを進めます。



■ 究極の循環型社会をめざして

トヨタでは、廃棄物を減らし、再利用可能なものは繰り返し使用し、さらに廃棄物を再び資源化します。



■ 人と自然が共生するために

トヨタは、水使用による環境負荷を小さくするとともに、生物の多様性を取り戻すために、自然保全活動の輪を地域・世界とつなぎ、そして未来へつなぐ活動を進めます。



トヨタ ハイエース環境仕様 (ワゴン)

車両型式		3BA-TRH214W	3BA-TRH214W	3BA-TRH219W	3BA-TRH224W	3BA-TRH229W
車両重量	kg	1,930～1,940	1,970～1,980	2,040～2,090	2,040～2,050	2,150～2,160
CO ₂ 排出量	g/km	252	255	276	261	283
WLTC	g/km	247	247	258	247	270
JC08	g/km					
認定レベルまたは適合規制(国土交通省)		平成30年基準排ガス基準適合				
排出ガス	CO	g/km		1.15		
認定レベル値	NMHC	g/km		0.10		
または適合規制値	NOx	g/km		0.05		
	PM	g/km		—		
	PN	個/km		—		
規制区分		平成28年騒音規制M2B2A				
車外騒音	加速(規制値)/定常/近接	dB	72/-/84			
冷媒の種類(GWP値)/使用量		HFO-1234yf /670				
鉛		自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下)				
水銀		自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止)				
カドミウム		自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)				
六価クロム		自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)				
車室内VOC		自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)				
鉛		電子基板・電気部品のはんだ、圧電素子(PZTセンサー)等を使用 鉛廃止済み部品：電着塗料、燃料ホース、パワステ高圧ホース、ホイールバランス、電球と点火プラグ、塩ビ・ゴム部品、バルブシート、軸受けなど				
水銀		水銀廃止済み部品：コンビネーションメーター				
六価クロム		六価クロムの使用無し/六価クロム廃止済み部品：金属部品類やボルト・ナット類の防錆目的コーティング他				
カドミウム		カドミウムの使用無し/カドミウム廃止済み部品：電気・電子部品のICチップ基板、厚膜ペースト他				
リサイクル関係	リサイクルしやすい材料を使用した部品	バンパーカバー・インストルメントパネル・その他内装材				
	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり				
	リサイクル材の使用	ダッシュサイレンサー等				

*1. 燃料消費率は「主要諸元表」をご覧ください *2. WLTCモード走行 *3. GWP:Global Warming Potential (地球温暖化係数)

*4. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められております。

*5. 1996年乗用車の業界平均1,850g(リサイクル回収ルートが確立されているため鉛バッテリーを除く)

*6. ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外) *7. VOC:Volatile Organic Compounds